

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

7月1日現在・()内対前月比

世帯	45,384	(+ 43)
人口	120,458人	(+ 38)
男	61,355人	(+ 3)
女	59,103人	(+ 35)

広報 **えびな**

「いつも明るく」をモットーに演奏する中央農高和太鼓部のメンバーたち



えびな模様

演奏はいつもカーニバル

一人ひとりが違ったリズムを刻みながら、それが見事に調和して、聴いている人々の心を熱くする。―そんな創作和太鼓に魅せられて、日々練習に励んでいるのが、県立中央農業高校和太鼓部(大須賀佳奈部長・26人)の面々。現在、県内の公立高校で和太鼓部があるのは同校のみ。私立高校を含めても数校と、たいへん珍しい部活動です。

明るく元気な中央農高和太鼓部

11年前に設立した同部のモットーは、「いつも明るく笑顔で演奏(大須賀部長談)」。その言葉を裏付けるようにレパートリーの中には、肩から下げてたく桶胴太鼓、鈴やチャップ(皿状の楽器)を打ち鳴らし、曲に合わせて扇子を持って踊る曲もあり、まるでカーニバルのような楽しく華やかな雰囲気を出します。

「全員の息が合って演奏できたときは最高!そんなときは、みんなの演奏に気合いが入っているのがわかるし、自分の演奏にも一段と熱が入ります」。

明るくエネルギー溢る演奏が評判を呼び、最近では、各地のイベントから参加依頼の声が掛かるそうです。とはいえ、入部当初は、生まれて初めてばちを手にした部員も多く、先輩の打ち出すリズムについていけなかったり、たたき続けるうちに腕が上がらなかつたこともたびたび。これを克服するため、学校での練習はもちろん、家でも枕を太鼓がわりにたたいてリズム感を養ったり、持続力をつけるため、自転車通学をする部員もいたそうです。

編曲や振付も自主的に

「うちの部は演奏するから文科系と思われがちですが、体力を使う点では体育会系。ストレス発散できるから好きですけど」。演奏する曲によっては市郷土芸能文化奨励団体「相州海老名東柏太鼓」(島田健次会長)の師事を仰ぐこともあります。大部分の曲は、自分たちでアレンジや振り付けをし、練習中、気が付いた点があれば、互いに納得するまで意見を出し合います。

「曲の選定などはすべて部員任せ。自主性を尊重する風潮は11年前から変わりません」と顧問の磯川彰教諭。この風潮が、部員一人ひとりの向上心を培い、明るい雰囲気を出しているように思います。

「植物などの品種改良をしたい」「農業を継ぐ前に自然環境を学びたい」と将来の道はさまざまですが、創作太鼓が好き、いつまでも太鼓と付き合っていきたいという点では全員が一致。

中央農業高校には、今日も明るく元気な太鼓の音色が響き渡ります。